

第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立趣旨

第81回国民体育大会の招致については、県議会をはじめ、公益財団法人宮崎県体育協会等のスポーツ関係団体、その他関係各位の御尽力により、平成27年7月、公益財団法人日本体育協会から開催申請書提出順序の了解通知を受け、平成38年の本県開催が事実上の決定をみたところであります。

国民体育大会は、昭和21年の第1回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図るなど、明るく豊かな国民生活の発展に寄与してきました。

本県においては、昭和54年に「伸びる心・伸びる力・伸びる郷土」をスローガンに、第34回「日本のふるさと宮崎国体」を開催し、本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな宮崎を築く原動力となり、本県のスポーツの振興はもとより、その後の県勢発展に大きく貢献してきました。

平成38年の国民体育大会の本県開催は、2万人を超える選手・監督をはじめ、数十万人の来県者が見込まれ、宮崎の神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信する絶好の機会であると同時に、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいに取り組み、豊かなスポーツ文化を享受できる社会づくりに寄与するものです。まさに本県が目指す姿の一つである「スポーツによる人が輝く元気な宮崎づくり」につながる意義のある大会であります。

この国民体育大会を成功させるためには、関係機関・団体、市町村並びに県が一丸となって、県民の力を結集し、開催準備に取り組む必要があります。

よって、ここに各分野の代表者の参画を得て、第81回国民体育大会宮崎県準備委員会を設立し、諸準備に万全を期するものであります。